

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2000-17084(P2000-17084A)

【公開日】平成12年1月18日(2000.1.18)

【出願番号】特願平10-196661

【国際特許分類第7版】

C 08 J 3/24

C 08 L 33/06

【F I】

C 08 J 3/24

C 08 L 33/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月24日(2005.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エンジニアリング熱可塑性樹脂(「プラスチック」)及び、第一及び第二の、少なくとも二つの硬化可能なアクリルゴムの加硫されたブレンドであって、

(1) 第一の縮合反応において、第一の硬化剤と反応しない第二の硬化可能なアクリルゴムの存在の下、第一の硬化可能なアクリルゴムを第一の硬化剤で硬化し、同時に放出されるガスを除去しながら、第一の加硫ゴムを產生し、

(2) 第二の縮合反応において、前記プラスチック及び前記第一の加硫ゴムの存在の下、放出されるガスを同時に除去しながら、前記第二のゴムを第二の硬化剤で硬化させ、少なくとも40のショアDの硬度を有する十分に緻密な中間体ハードブレンドを产生し、及び

(3) 連続する縮合反応において、前記十分に緻密な中間体ハードブレンドの存在の下、放出されるガスを同時に除去しながら、追加の硬化剤で追加の硬化可能なゴムを硬化し、30未満のショアDの硬度を有し、実質的に可塑剤を含まない、最終的な「軟らかい」ブレンドを产生する、ことによって形成される、加硫されたブレンド。